

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 608 事業名 各種災害に対応する自動車購入事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		消防費	
	項		消防費	
	目		消防施設費	
	大事業		消防施設事業	
事項		各種災害に対応する自動車購入事業		

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	2	消防力の充実
取組	2	常備消防力の強化

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	警防課	大浦 正男 (428-0119)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実	○	美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	複雑多様化する災害に対応するために、即応可能な消防自動車の購入及び老朽化した車両を更新し、消防機械力の強化及び防災体制の整備充実を図るものです。	各種消防自動車 (ポンプ車16台、高規格救急車15台、タンク車4台、化学車5台、はしご車3台、救助工作車3台、防火広報車13台など消防局保有全82台) の更新、購入				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		はしご車 (2.4m級) の更新 高規格救急自動車の購入 高規格救急自動車の購入 (繰越)	化学消防車 (II型) の更新	特殊災害対応消防ポンプ自動車 (CDI型) 2台の更新 高規格救急自動車の更新 資機材搬送車2台の更新	はしご車 (3.5m級) の更新 高規格救急自動車の更新 資機材搬送車の更新	

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	192,736	167,674	51,995	43,729	104,864	102,350	248,187		248,187		
	伸び率 (%)	-	-	-73.0%		101.7%		136.7%		0.0%		
	人件費	常勤職員	9,579	11,231	14,172	9,514	8,789	8,717	7,903		8,717	
		非常勤職員					75	75	95		75	
		小計	9,579	11,231	14,172	9,514	8,864	8,792	7,998		8,792	
	国庫支出金	64,784	61,971	13,683	13,683	27,513	23,797					
	県支出金											
	市債	95,500	90,900	30,500	22,600	55,678	58,500	47,400				
その他	4,000	4,000	5,000	5,000	4,000	5,000	4,000					
一般財源 (税等)	28,452	10,803	2,812	2,446	17,673	15,053	196,787					
所要人数	常勤職員	1.25	1.47	1.85	1.26	1.16	1.15	1.05		1.15		
	非常勤職員					0.04	0.04	0.04		0.04		

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	消防車両の整備数 (災害現場即応車両のうち耐用年数内の消防車両の台数)					年度目標値	25	26	27	28	29
						実績値	25	26	27		
	単位	台	全体目標値	29	全体目標達成度	93.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
						年度目標値					
						実績値					
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					
成果指標	消防車両の整備率 (災害現場即応車両のうち耐用年数内の消防車両の割合)					年度目標値	49	51	52.9	56	58
						実績値	49	50	55		
	単位	%	全体目標値	56.9	全体目標達成度	87.9%	年度別達成度	100.0%	98.0%	104.0%	
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	消防機械力を強化し、防災体制の整備充実を図るためには、災害の種別に即応した消防自動車の更新は必要であり、市民の生命、身体、財産を守るため遅滞することはできません。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	